平成 28 年 11 月 京都府

# 2020 年東京オリンピック・パラリンピック大会に向けた京都からの日本文化の発信について

【担当省庁】文部科学省、文化庁

## １　「京都文化力プロジェクト 2016-2020」の国が主導するプロジェクトへの位置づけ

● 「京都文化力プロジェクト 2016-2020」の取組を、国が主導する内閣官房の「beyond 2020 プログラム」に位置づけていただくとともに、文化庁の「文化芸術創造拠点形成事業」の予算を確保し、採択していただきたい。

## ２　文化庁の地域文化創生本部(仮称)における戦略的な事業展開

● 文化庁の京都への全面移転に向けて、「古典の日フォーラム」や「全国高校生伝統文化フェスティバル」等の事業を、文化庁の「地域文化創生本部(仮称)」において先行して取り組むことにより、全国展開していただきたい。

## ３　「文化首都」をめざす京都からの先駆的な取組の「先進的文化芸術創造拠点形成事業」などへの採択

● 京都府が実施するＤ(伝統産業)、Ｅ(映像・ｺﾝﾃﾝﾂ)、Ｓ(食)、Ｋ(観光)をキーワードにした新たな文化創造事業などの取組を「先進的文化芸術創造拠点形成事業」などの「文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業」に採択していただきたい。

＜文部科学省・文化庁の概算要求＞

◎　文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業 45 億円（28 年度予算額 27.9 億円）

①先進的文化芸術創造拠点形成事業　15 億円（新規）

文化庁が設定する重点分野において、芸・産学官連携により持続的な地域経済の発展や社会的包摂の取組を牽引する地方公共団体の総合的な取組を先進的文化芸術創造拠点として支援（10 か所）

②文化芸術創造拠点形成事業　30 億円（継続）

地方公共団体が主体となり、地域住民や地域の芸・産学官とともに実施する、地域の文化芸術資源を活用した取組や、地方公共団体等による文化事業の企画・実施体制を構築・強化する取組を支援する。

◇地域の文化芸術資源を活用した文化芸術事業への支援（138 事業）

◇地方公共団体等による文化事業の企画・実施体制を構築・強化する取組への支援（10 事業）

【現状・課題等】

1　「京都文化力プロジェクト 2016-2020」の国が主導するプロジェクトへの位置づけ

内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局では、2020 年以降を見据えた文化プログラムの推進のため、日本の強みである地域性豊かで多様性に富んだ文化を活かし成熟社会にふさわしい次世代に誇れるレガシー創出に資する文化プログラムを、「beyond 2020 プログラム」として認定し、日本全国に展開するとしている。

◎　京都文化力プロジェクトの概要

「京都文化力プロジェクト」は、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等を契機に、京都を舞台に行われる文化と芸術の祭典。2020 年に向けて、京都から多彩な文化・芸術を世界に発信するとともに、国内外の人々と交流・協働し、新たな創造の潮流を起こす。

これまで、千玄室氏（茶道裏千家前家元）をはじめとする５名の文化人の呼びかけを受け、平成 26 年 10 月にオール京都の推進委員会を立ち上げ、平成 28 年３月に基本構想を策定。５月には実施に向け、実行委員会を設立。

| | |
|---|---|
| 共同代表理事：<br>山田知事、門川市長、立石商工会議所連合会長／京都商工会議所会頭<br>理事：文化等の有識者１２名<br>顧問：長尾元京都大学総長 | **スケジュール**　5 月　京都文化力プロジェクト実行委員会設立<br>6 月～ 実施計画検討<br>10 月　実施計画策定<br>10 月～ スポーツ・文化・ワールド・フォーラム開催（キックオフ事業）<br>京都文化力プロジェクト実施<br>**経過**<br>26 年 8 月 文化的リーダーから「京都文化フェア」の呼びかけ<br>26 年 10 月「京都文化フェア呼びかけ」に基づく推進委員会設置<br>28 年 3 月　京都文化力プロジェクト基本構想策定 |

## ２　文化庁の地域文化創生本部（仮称）における戦略的な事業展開

### ＜古典の日フォーラム 2016 の概要＞

（写真提供：古典の日推進委員会）

趣旨：古典の日推進委員会のメインイベントとして開催。古典の魅力を広く発信し、「古典の日」推進活動をさらなる展開を促すことにより、全国及び全世代への普及・定着を図る。

日時：平成 28 年 11 月 1 日（火）

場所：ロームシアター京都

国の主な取組：

平成 24 年 11 月 1 日　古典の日記念シンポジウム（「古典の日フェスタ」）等を実施。それ以降なし。

### ＜第 5 回全国高校生伝統文化フェスティバル・第 3 回全国高校生茶道フェスティバルの概要＞

（写真：昨年のフェスティバルから）

趣旨：伝統文化に勤しむ全国トップレベルの高校生の憧れや希望･目標･交流の場となる文化フェスティバルを開催し、各地域で大切に育まれてきた伝統文化を次世代に継承・発展させる。

日時：平成 28 年 12 月 17 日（土）・18 日（日）

場所：京都コンサートホール 他

## ３　「文化首都」をめざす京都からの先駆的な取組の「文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業」への採択

### ◎　28 年度実施事業

### ＜京都・文化ベンチャーコンペティション〉

趣　　旨：古今東西の文化、芸術を新たな角度から捉えた独創的な「知恵」を募集し、京都においてしっかり育て、多様な文化を受容しつつ高い文化力を持つ、いきいきとした社会を創ることを目指す。

募集内容：幅広く芸術や文化の視点を取り入れた、心豊かで質の高い生活に寄与するビジネスプラン

賞　　：京都府知事賞、京都経済界賞 等

募集期間：平成 28 年 6 月 1 日（水）～ 9 月 15 日（木）

授賞式等：平成 29 年 2 月 19 日（日）

（「染」と「和菓子」の融合「toko. の染柄ＷＡＧＡＳＨＩ」平成 27 年度京都府知事賞）

＜創造のためのアーカイヴ～文化芸術資源の活用による新たな表現（「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム」京都プログラム文化会議分科会)〉

日　　時：平成 28 年 10 月 19 日（水）
場　　所：京都文化博物館
人　　数：200 名
内　　容：溝口健二監督「雨月物語」の 4Kデジタル復元版を主導したマーティン・スコセッシ監督オリジナルメッセージを中心にした基調講演と復元比較映像の上映、国内有識者によるアーカイヴの手法や活用に関するパネルディスカション。
デジタルアーカイブ（＝ネットワーク情報資源）の利活用・展開を牽引

（パネルディスカッションの模様）

＜京都：Re-Search in 舞鶴＞

趣　　旨：地域の人々が主体となって芸術文化活動に関わる環境づくりとともに、地域の持つ魅力をアートの視点から引き出すことにより、交流人口の拡大、地域の活性化に寄与することを目指す。
特定の滞在施設を必要としない新しいアーティスト・イン・レジデンスモデル。

（講師からのアドバイスの模様）

実施期間：平成 28 年 8 月 22 日（月）から 9 月 5 日（月）
人　　数：参加アーティスト 7 名
概　　要：若手アーティストが、舞鶴市内の古民家に滞在し、各自が設定したテーマに沿って、舞鶴の風土や歴史等を調査し、そこでの発見を活かしたアートプロジェクトや作品プランの構想を立てる。併せて、その過程をデータ化しウェブサイト、SNSで発信。
※ 12 月 4 日開催「京都：Re－Searchフォーラム」においてAIRの有益な活用等を議論するとともに、舞鶴での取組も報告

＜京都の財産ＤＥＳＫ＞

**Ｄ（伝統産業）**

日本の伝統と文化を支え、創造する京都の伝統産業は、生活の中に息づき、その風景の一部として大きな位置を占めている。

**Ｅ（映像・アニメ・コンテンツ）**

歴史文化だけでなく、映画・映像・アニメ・ゲームなど新しいコンテンツまで、幅広い文化資源を活用して新しい文化政策を立案

**Ｓ（食）**

「和食」はユネスコ無形文化遺産に登録されており（京都から登録を提唱）、京都では、和食文化の高等教育機関設立構想など、和食文化を普及・啓発

**Ｋ（観光）**

文化・芸術、風景・旧跡・名所などに対する評価で選ばれる「TRAVEL＋LEISURE」誌「ワールドベストアワード」において「世界の魅力的な観光都市」１位を 2014 年から２年連続で獲得

**【京都府の担当課】**


| | | |
|---|---|---|
| 政策企画部 | 戦略企画課 | 075-414-4352 |
| 文化スポーツ部 | 文化政策課 | 075-414-4217 |
| | 文化芸術振興課 | 075-414-4219 |
| | 文化交流事業課 | 075-414-4244 |